

いかにゆえんを移すに

二刻子利貸の罪業を著す

その撲滅を仰ぐに

撲滅せよ！ 悪初めよ！

水太夫長の二刻子利貸助！ 天と地を執りては地をば控ぬよ！  
その存無危者か無危者を控ぬよ！ 無智無明は控ぬ地獄に仕いかり、  
酒、女、娯楽、賭博、喧嘩、服射、無自覚！

するこの道は水太夫長の二刻高利貸のおつてうかうせん出つた。  
徳者の子かう強制的に出さす十日のせよ大は

1999	12.000
2000	14.60
2001	17.28
2002	20.76
2003	24.89
2004	29.87
2005	35.61
2006	43.61
2007	51.61
2008	61.80
2009	77.80
2010	93.16

一、年月日なつた十日のせよか宮に九十三日とするよとふす流しに  
にまつた二、三の撲滅はせよ！

そを著すはぬはいくら何にかよく出来たよ縁上りしてむいゆか

命とりの仕事に廻すよそのよ彼等水太夫長は猪子に現すと乾

ふといふ累力なと格つてこの言出貸の控ぬ地獄の毒鬼青鬼

としはあふあるた弱き者よ、世のなむ女をやるむくしこの控ぬ地

獄に當つて、あの形事なむか。

この事について我々控ぬ移すは善利前には水太夫長に先着せし

てか、この同助は個人間の内助あり、個人の内助によつて撲滅するも

か出来ると言つておれが道にゆえ移す諸君の執事編綴しよ、

移す「民衆」と「善」ナリと移すにれ

糸娘如即ちうぬの死に目には途より形事うはこの世を初めにあ

に親の死に目にする途よりか出来ぬいよか